

【意見交換の視点】

- ①外来医療全体について(地域における外来医療提供体制に関する課題など)
- ②紹介受診重点医療機関の仕組みを踏まえた外来医療について(特に逆紹介を円滑に進めるための課題など)

視点	主な意見(事前調査の回答を含む)
①	<ul style="list-style-type: none"> ✓産科や小児科など、特に夜間・休日に救急対応が必要になることが多い診療科の受け入れ体制が不十分 ✓開業医の高齢化や医師の働き方改革により、初期救急医療の提供体制への影響が懸念 ✓全身疾患や認知症のある高齢者の急変時の受入れ先の問題、特にキーパーソン不在の場合の対応が困難
②	<ul style="list-style-type: none"> ✓特に、逆紹介を円滑に進めるための課題として、以下の意見が多数あり <ul style="list-style-type: none"> ・逆紹介先となる地域の医療機関の詳細な情報が不足している ・複数の診療科を受診している患者は、通院の利便性などからも逆紹介に理解を示してもらえない。患者の理解も必要。 ✓一方、以下のような取組により、逆紹介を比較的円滑に進めることができているとの意見も見受けられた <ul style="list-style-type: none"> ・長い年月をかけて地域の医療機関と顔の見える連携関係を構築 ・連携室が中心となり地域の医療機関の情報を蓄積 ・地域の医療機関の情報を詳細に盛り込んだ冊子を有効に活用
その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓移動手段がなく、受診困難な高齢者が今後増加するため、受診・受療の機会を提供する体制の検討が必要 ✓外来医師の自主的な行動変容を促すためには次のような情報が有用ではないか <ul style="list-style-type: none"> ・各医療機関の特徴、専門医資格及び得意な疾患等が分かるデータ ・診療科別の医療機関数、開廃医療機関数及び当該地図データ ・診療科ごとの平均的な外来患者数、地域における想定患者数